

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書（令和4年度）2022年度

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場所	会員参加数
	7	8	金	13:00	15:30	藤金市民の森	12名
活動名称	第二回藤小学校の藤金市民の森における自然体験活動					報告者：小澤ク	

<活動目的>

森の役割のひとつとして、森の材料が生活に役立っていることを知ってほしい。また、雑草のように生えているササが舟になり、川に流す遊びを通じて自然の役割を体験してほしい。

<主な活動内容>

二回目の自然体験活動で、①森にある竹細工や②森の笹を使ったササ舟作りや大谷川へササ舟を流すプログラムで。③竹の伐採体験を想定したが、時間が不足で、竹の伐採を見学し、その竹を竹細工の場所まで運ぶ作業に変更。

<課題・評価>

- 竹を切るところを見て、歓声を上げ、枝打ちした竹を竹細工の場所まで運びました。皆さん、一緒になって運んでいました。
- 竹細工では、ノコギリが初めての子は約半数で、竹を切るのも初めてで、ノコギリの使い方がわからない子もいました。また、経験者はとてもうまい真小切り裁きを見せる子もいて、経験の大切さを感じました。また、竹を切るグループ毎に、役割分担しているグループ、一人で切って、ほかは傍観しているグループなど、グループとして共同作業になれていないグループも見られた。この活動は、竹を切るだけではなく、共同作業のやり方も目的のひとつであるので、今後の課題としたい。
- ササ舟づくりは、出来ること出来ない子に大きな差があり、出来ない子への指導者が足りないようでもあった。また、つくったササ舟を川に流し、流れていくササ舟を歓声をあげて見ていました。このような体験は、滅多に出来ないもので、子供達は大喜びでした。
- ノコの持ち方、作業台の使い方、抑え方や切り方の基本的な作業の指導が必要か。

<里山参加会員>

柳川、石川、脇谷、小沼、大森、小澤邦 佐野英、杉山、小嶋、松井、吉井、(牛島)

<活動写真>



